

	愛知県  大府市 	【データ】令和7年5月末日現在 ・人口: 93,107人 ・世帯数: 41,189世帯 ・面積: 33.66km² ・市の花: クロガネモチ、サクラ ・市の木: クチナシ、ツツジ ・名産品: バイオリン、木の山芋、ブドウ 【連絡先】 ・担当: 健康未来部健康未来政策課 ・電話: 0562-85-3232
---	---	---

**昭和45年の市制施行以来、まちづくりの基本理念は「健康都市」ひとすじ
「日本一元気な健康都市おおぶ」の実現を目指します**

健康都市おおぶ



平成18年に市民公募で選ばれた健康づくりマスコットキャラクター「おおぶちゃん」。体のかたちは大府市の地形、明るい黄色は元気のしるし、頭の花は市の花クチナシ。タスキをかけて未来への健康の橋渡し役を務めます。平成29年8月に、これまでの活躍が認められ、市の公式マスコットキャラクターとなりました。



大府市は、健康経営優良法人2025(大規模法人部門)に認定されました！
市内事業所に対しても、大府商工会議所、全国健康保険協会愛知支部との三者連携協定を締結し、健康経営を積極的に推進しています。

大府市の特徴 | 大府市は、知多半島のつけ根に位置し、名古屋市に隣接しています。市の中央をJR東海道本線が走り、北部に伊勢湾岸自動車道、西部に知多半島道路を有するなど、交通アクセスに恵まれています。良好な住宅地の形成や子育て支援の充実等により人口も増加し、住環境と産業と自然が調和した都市として発展しています。

健康都市おおぶのあゆみ | 大府市は、第1次総合計画(昭和49年)から一貫して「健康都市」の実現を都市目標に掲げ、昭和62年には、市民総ぐるみの健康増進を目指して「健康づくり都市宣言」を行いました。また、平成18年には、WHOの提唱する健康都市連合及び健康都市連合日本支部に加盟し、平成29年には、『健康都市おおぶ』みんなの健康づくり推進条例」を制定するなど、「健康都市おおぶ」としての環境整備に取り組んでいます。

スタートアップとの連携強化 | 大府市の南部には、健康・長寿に関する研究機関や施設が集積する「ウェルネスバレー」があります。大府市と東浦町が事務局を務めるウェルネスバレー推進協議会は、スタートアップとの連携に力を入れ、愛知県におけるスタートアップの中核支援機関 STATION Ai のパートナー拠点に位置付けられています。さらに、令和6年12月からは、大府市が STATION Ai に入居し、スタートアップとの連携を通じて市内事業者のイノベーション創出や生産性向上を推進しています。

「音楽のまち・バイオリンの里 おおぶ」の推進 | 大府市は、令和3年に鈴木バイオリン製造(株)の本社工房を誘致したことを契機に、音楽・バイオリンの音色が市民の心に響くまちづくりを推進しています。野外クラシックコンサートや市庁舎ロビーコンサートに加え、保育園での音楽会や小学校でのバイオリン授業など、美しい音色に親しむ数多くの事業を実施しています。

◆歩行姿勢測定システムを導入！

市民向けのイベントや市内事業所を対象とした測定会などで活用しています

日常の散歩やウォーキングを正しい姿勢で行うことで、健康維持や生活習慣病予防に効果があるとされていることから、令和5年度に歩行姿勢測定システムを導入し、イベントや企業向けの測定会で活用しています。(R5：1745人、R6：1890人)

3Dカメラセンサに向かって約6メートル歩くだけで、「歩く速さ」「身体の軸」「腕振り」等のカテゴリごとに5段階評価され、推定歩行年齢を算出することができます。(NEC製・評価基準は(株)アシックススポーツ工学研究所により開発)



◆ロート製薬、スギ薬局、名古屋大学とアイケア啓発に関する連携協定を締結！

こどもから大人まで、あらゆる世代の「見える」を守る取組を推進します

大府市は、全国平均と比べて裸眼視力1.0未満または眼鏡等使用の小学生の割合が高いことから、令和4年4月にロート製薬(株)、(株)スギ薬局、名古屋大学と覚書を締結し「こどもの近視予防プロジェクト」を開始しました。市内すべての小学1年生(1,000名程度)へ近視予防の出前講座を実施するほか、親子参加型のイベント開催や未就学児への啓発などを行っています。



令和6年9月には、対象を働く世代・高齢者にも拡大し、同4者でアイケアの啓発に関する連携協定を締結しました。大人向けには「アイフレイル」をキーワードに、体験型イベントの開催や事業所訪問セミナーなどを実施しています。

あらゆる世代の目の健康に関する意識を向上させ、生涯の「見える」を守り、健康寿命の延伸を目指しています。

◆第10回健康都市連合国際大会にてグッド・ダイナミック賞を受賞！

多様な部門と連携した健康都市推進施策の実践が評価されました

令和6年9月、韓国ソウルで開催された第10回健康都市連合国際大会において、本市の健康都市への取組が評価され、「グッド・ダイナミック賞」を受賞しました。この表彰は、健康都市連合が加盟団体の過去3年間の健康都市の取組を評価するもので、本市はこれまで2度「グッド・インフラストラクチャー賞」を受賞していました。今回はより高い評価として、「グッド・ダイナミック賞」を受賞しました。「10カ月児食べる機能健診」「認知症サポーター養成2万人チャレンジ!」「こどもの近視予防プロジェクト」など、市民や地域、企業などの関係機関と協働し、健康都市を推進しています。

